

## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 27 日

奈良県知事 殿

## 提出者

住 所 奈良県橿原市五井町81番地

氏 名 株式会社 松村組  
代表取締役 松村正浩

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-22-3789

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 松村組
事業場の所在地	奈良県橿原市五井町81番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 22.316万円
③ 従業員数	7 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>(解体工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 混合物→処分業者に委託し、再生資源化若しくは埋立処分。</p> <p>(基礎工事) 汚泥→中間処理業者に委託し、脱水後埋立処分。</p> <p>(建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。</p>

(日本産業規格 A列4番)

## (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図)						
工務部総務係（産業廃棄物管理担当者） ↓ 工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者）						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず			
	排出量	1,273.0 t	0.0 t			
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード			
	排出量	1.5 t	0.0 t			
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物			
	排出量	0.0 t	0.0 t			
	(これまでに実施した取組)					
梱包材の削減						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず			
	排出量	未定 t	未定 t			
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード			
	排出量	未定 t	未定 t			
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物			
	排出量	未定 t	未定 t			
	(今後実施する予定の取組)					
工法の改善による産業廃棄物の減少						
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					
	がれき類、廃プラスチック類、混合物はそれぞれに分別している。					
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					
	特になし					

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
自ら産業廃棄物の再生利用は行っていない。 型枠については、出来るだけそのまま再使用している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
特に予定していない。			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行つた産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
特に予定していない。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和 6 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
②計画	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
		石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物			
		0 t	0 t			
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。						
		【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
		石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物			
		0 t	0 t			
(今後実施する予定の取組) 特に予定していない。						

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和 6 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
	全処理委託量	1,273.0 t	0.0 t	
	優良認定処理業者への委託量	0.0 t	— t	
	再生利用業者への委託量	1,273.0 t	— t	
②計画	認定熱回収業者への委託量	— t	— t	
	認定熱回収業者以外への委託量	— t	— t	
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード	
	全処理委託量	1.5 t	0.0 t	
②計画	優良認定処理業者への委託量	1.5 t	— t	
	再生利用業者への委託量	0 t	— t	
	認定熱回収業者への委託量	— t	— t	
	認定熱回収業者以外への委託量	— t	— t	
③計画	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	
	全処理委託量	0.0 t	0.0 t	
	優良認定処理業者への委託量	— t	— t	
	再生利用業者への委託量	— t	— t	
④計画	認定熱回収業者への委託量	— t	— t	
	認定熱回収業者以外への委託量	— t	— t	
	産業廃棄物の種類	混合（管理型含む）	廃石膏ボード	
	全処理委託量	1.5 t	0.0 t	
		優良認定処理業者への委託量	— t	
		再生利用業者への委託量	— t	
		認定熱回収業者への委託量	— t	
		認定熱回収業者以外への委託量	— t	
(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。				

## (第5面)

		【目標】			
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
②計画	全処理委託量	未定	t	未定	t
	優良認定処理業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	再生利用業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	認定熱回収業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)		廃石膏ボード	
	全処理委託量	未定	t	未定	t
	優良認定処理業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	再生利用業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	認定熱回収業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物		水銀使用製品産業廃棄物	
	全処理委託量	未定	t	未定	t
	優良認定処理業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	再生利用業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	認定熱回収業者への処理委託量	未定	t	未定	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	未定	t	未定	t
(今後実施する予定の取組)					
近隣の優良認定処理業者を選定する。					
委託先処理業者には、搬出時に実地確認を実施する。					
※事務処理欄					